



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 エスライン

コード番号 9078 URL <http://www.slinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 嘉彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 村瀬 博三

TEL 058-245-3131

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,205	0.4	1	△98.5	78	△59.5	△86	—
23年3月期第2四半期	20,121	7.4	122	△57.8	194	△45.5	△316	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △48百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △352百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△4.09	—
23年3月期第2四半期	△14.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	27,445	14,528	50.7
23年3月期	28,484	14,743	49.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,909百万円 23年3月期 14,125百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△0.8	360	△41.8	450	△40.9	165	△20.7	7.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	21,753,993 株	23年3月期	21,753,993 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	902,777 株	23年3月期	585,131 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	21,104,660 株	23年3月期2Q	21,370,750 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。連結業績予想の修正については、本日別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
参考資料	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響が次第に解消され、個人消費や企業の生産活動の復旧など一部で持ち直しが見られたものの、欧州の財政不安や歴史的な円高が長期化するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、この様な経済環境のもと、企業の生産活動の復旧に伴い貨物量は徐々に回復傾向にあるものの、貨物獲得競争による輸送単価の下落や、お客様からの物流経費の見直し要請、更には軽油価格の高止まりなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様が求められる物流ニーズに的確にお応えするために、グループ各社の得意とする業務分野で機動力を発揮するとともに、担当分野で培った物流ノウハウや施設を当社グループ全体で共有して、より質の高い物流サービスを提供するために、当社グループの総合力を結集して取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益202億5百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益1百万円（前年同期比98.5%減）、経常利益78百万円（前年同期比59.5%減）、四半期純損失86百万円（前年同期は3億16百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業などであります。

貨物自動車運送事業のうち、当社グループの主力であります特別積合せ部門では、貨物輸送量減少による配送効率の低下、備車費の増加、輸送単価の下落、また、お客様からの物流経費の削減要請などもあり、非常に厳しい状態が続いております。このような状況のなか、家電配送業務では、地デジ化移行への駆け込み需要への対応に加えて、当社グループの得意とする物流加工業務と家電・家具の個人宅への配達及び設置作業のノウハウを活かして、東北地方を中心に東日本大震災で被災された方々への支援物資輸送や、仮設住宅へお届けする生活用品の梱包と配送業務に協力するなど、お客様の要請に的確にお応えする物流サービスの提供に力を注いでまいりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は198億72百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益（営業利益）は2億42百万円（前年同期比43.4%減）となりました。

#### [不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、エスライングループ各社にて保有している遊休資産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は1億94百万円（前年同期比14.5%増）、セグメント利益（営業利益）は92百万円（前年同期比69.1%増）となりました。

#### [その他事業]

主に、旅客自動車運送事業を営んでおります。岐阜地区の高校や大学の通学バスを中心とした定期運行に加えて、冠婚葬祭時の送迎や学校の長期休暇時のサークル活動、さらには地域グループの行楽などの要請に応え、安全と安心を第一に、引き続き地域に密着した運行を行ってまいります。

この結果、その他の営業収益は1億38百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益（営業利益）は24百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の連結資産合計は274億45百万円となり、前連結会計年度比10億38百万円減少しております。この主な要因は現金及び預金、受取手形及び営業未収入金の減少、固定資産の減価償却による減少であります。

また、連結負債合計は129億17百万円となり、前連結会計年度比8億23百万円減少しております。この主な要因は借入金、営業未払金の減少であります。

連結純資産合計は145億28百万円となり、前連結会計年度比2億15百万円減少しております。この主な要因は四半期純損失と配当金の支払による減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より4億60百万円資金が減少し21億8百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億27百万円の収入（前年同期は8億29百万円の収入）となりました。この主な収入は減価償却費の計上および営業債権の減少で、主な支出は営業債務の減少であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億75百万円の支出（前年同期は11億50百万円の支出）となりました。この主な支出は有形固定資産の取得であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億11百万円の支出（前年同期は1億81百万円の収入）となりました。この主な支出は借入金の返済および配当金の支払であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の経済動向を踏まえ、連結業績予想につきましては、平成23年8月10日に公表した内容から変更しております。詳細につきましては、本日別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,794	2,380
受取手形及び営業未収入金	5,296	4,946
貯蔵品	53	55
繰延税金資産	37	69
その他	286	369
貸倒引当金	△11	△5
流動資産合計	8,456	7,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,336	5,172
機械装置及び運搬具（純額）	1,221	1,017
土地	10,251	10,251
リース資産（純額）	124	103
建設仮勘定	—	95
その他（純額）	99	86
有形固定資産合計	17,033	16,726
無形固定資産		
投資その他の資産	595	551
投資有価証券	1,264	1,175
繰延税金資産	143	217
その他	1,010	982
貸倒引当金	△18	△23
投資その他の資産合計	2,399	2,352
固定資産合計	20,028	19,630
資産合計	28,484	27,445

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,413	4,139
短期借入金	1,190	930
1年内返済予定の長期借入金	495	351
未払法人税等	212	130
賞与引当金	226	250
役員賞与引当金	10	5
設備関係支払手形	26	1
その他	601	668
流動負債合計	7,176	6,476
固定負債		
長期借入金	357	239
繰延税金負債	2,186	2,207
退職給付引当金	2,998	3,017
役員退職慰労引当金	177	177
資産除去債務	203	204
負ののれん	90	67
その他	549	526
固定負債合計	6,564	6,440
負債合計	13,740	12,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,938	1,938
資本剰余金	2,812	2,812
利益剰余金	9,406	9,214
自己株式	△115	△173
株主資本合計	14,043	13,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	116
その他の包括利益累計額合計	81	116
少数株主持分	618	619
純資産合計	14,743	14,528
負債純資産合計	28,484	27,445



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	20,121	20,205
営業原価	19,134	19,406
営業総利益	987	799
販売費及び一般管理費	864	797
営業利益	122	1
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	20
受取賃貸料	17	14
負ののれん償却額	25	23
持分法による投資利益	0	5
その他	32	29
営業外収益合計	90	92
営業外費用		
支払利息	11	8
売上割引	2	3
債権売却損	4	4
その他	0	0
営業外費用合計	18	15
経常利益	194	78
特別利益		
固定資産売却益	12	22
補助金収入	19	4
その他	1	1
特別利益合計	33	27
特別損失		
固定資産除売却損	14	12
減損損失	3	—
投資有価証券評価損	165	157
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	—
その他	27	0
特別損失合計	323	169
税金等調整前四半期純損失(△)	△94	△62
法人税等	224	21
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△319	△83
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	2
四半期純損失(△)	△316	△86

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△319	△83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	34
繰延ヘッジ損益	△43	—
その他の包括利益合計	△33	34
四半期包括利益	△352	△48
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△347	△51
少数株主に係る四半期包括利益	△4	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△94	△62
減価償却費	768	708
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33	18
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27	23
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	△5
受取利息及び受取配当金	△15	△20
支払利息	11	8
持分法による投資損益(△は益)	△0	△5
有形固定資産売却損益(△は益)	△12	△22
有形固定資産除却損	14	11
営業債権の増減額(△は増加)	192	349
たな卸資産の増減額(△は増加)	5	△1
営業債務の増減額(△は減少)	90	△274
その他	△4	64
小計	1,066	791
利息及び配当金の受取額	16	20
利息の支払額	△11	△7
法人税等の還付額	39	45
法人税等の支払額	△281	△222
営業活動によるキャッシュ・フロー	829	627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	12	10
定期預金の預入による支出	△59	△56
投資有価証券の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
有形固定資産の売却による収入	17	25
有形固定資産の取得による支出	△725	△372
無形固定資産の取得による支出	△430	△0
その他	38	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,150	△375
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	490	△260
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△375	△262
配当金の支払額	△106	△105
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△23	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	181	△711
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△140	△460
現金及び現金同等物の期首残高	2,453	2,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,313	2,108

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	19,806	170	19,977	144	20,121	—	20,121
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,806	170	19,977	144	20,121	—	20,121
セグメント利益	429	54	483	25	508	△385	122

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△385百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	19,872	194	20,067	138	20,205	—	20,205
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,872	194	20,067	138	20,205	—	20,205
セグメント利益	242	92	335	24	359	△357	1

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△357百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成 23年 11月 11日

各 位

株式会社 エスライン  
(コード番号 9078 名証2部)

## 平成 24 年 3 月 期 第 2 四 半 期 決 算 発 表 (参 考 資 料)

## 連結決算

## 1. 第2四半期業績の推移

(単位:百万円、%)

	22年3月期	23年3月期	24年3月期	
	実績	実績	実績	対前期増減率(%)
連結子会社	22社	22社	22社	
売上高	18,741	20,121	20,205	0.4
営業利益	291	122	1	△ 98.5
経常利益	357	194	78	△ 59.5
第2四半期純利益	45	△ 316	△ 86	---

## 過去最高～売上高・利益

(第2四半期) (単位:百万円)

売上高	24年3月期	20,205 (過去最高)
営業利益	20年3月期	417
経常利益	20年3月期	478
第2四半期純利益	19年3月期	292

## 2. 通期の業績予想

(単位:百万円、%)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	
	実績	実績	実績	予想	対前期増減率(%)
連結子会社	22社	22社	22社	22社	
売上高	38,947	38,784	41,348	41,000	△ 0.8
営業利益	420	918	618	360	△ 41.8
経常利益	554	1,034	761	450	△ 40.9
当期純利益	△ 414	741	208	165	△ 20.7
連単倍率	---	---	---	---	---

(通 期) (単位:百万円)

売上高	23年3月期	41,348
営業利益	4年3月期	1,468
経常利益	4年3月期	1,223
当期純利益	4年3月期	1,801

## 【第2四半期業績】

- 売上高は、特積み部門の収入が減少するなかで、家電配送や震災復興支援業務などの収入が増加したことにより202億5百万円(前年同期比0.4%増)となりました。
- 営業利益と経常利益は、燃料費の増加と特別積合せ部門における備車費用や外部委託費が増加したことにより大きく減少しました。
- 四半期純利益は、営業利益の減少に加えて、投資有価証券評価損が発生したことにより赤字となりました。

## 【通期予想】

- 国内貨物の総輸送量が伸び悩むなか、物流業界の経営環境は、まだ厳しい状況が続くと予測しております。このような状況下で、当社グループはお客様が求める物流サービスの提供と高い輸送品質により、収入の確保を図るとともに、主要経費である外部委託費や備車費の更なる削減を行う事により、業績確保に取り組んでまいります。
- 特別積合せ部門においては、作業効率の向上と運行の合理化・効率化を進めるために、エスラインギフの浜松支店の移転と岐阜地区での支店統合を行い、集配及び運行両面にわたっての効率改善を図ってまいります。
  - 家電部門においては、専門輸送や物流加工業務で培ったノウハウを活かして、新たなお客様の開拓を行うとともにより質の高い物流サービスを提供することにより、グループ全体の営業拡大に努めてまいります。

## 3. 設備投資と減価償却費の状況

(単位:百万円、%)

	23年3月期		24年3月期			
	通期実績	対前期増減率(%)	第2四半期実績	対前期増減率(%)	通期予想	対前期増減率(%)
設備投資	999	3.3	367	△ 50.4	1,520	52.1
減価償却	1,519	4.0	708	△ 8.0	1,380	△ 9.1

※主な設備投資の状況

浜松支店移転、本社改修工事  
小倉支店事務所、車両の購入

以 上